

高齢化コミュニティの未来を考える 八丈島フォーラム

パネル展示

「近世の古文書からひもとく
八丈島のくらし」同時開催！

健康・長寿の八丈島であり続けるために —保健・医療・福祉の課題と施策—

趣旨説明にかえて

「ご挨拶を兼ねて—高齢化社会とインキョ制家族」 立柳 聡（福島県立医科大学）

「八丈島に来続ける思い」 對馬 秀子（埼玉医科大学短期大学） 松山 義夫（公益社団法人埼玉県社会福祉士会）

第Ⅰ部：共助と在地の資源を活かす八丈島民の知恵

■「ミコ（巫女）の文化と癒し」

土屋 久（共立女子大学・順天堂大学）

■「伝統的治療法の未来—健康・長寿に向けた一助として—」

岡本 裕樹（順天堂大学大学院）

第Ⅱ部：八丈町における現状の保健・医療・福祉のニーズ

■「保健師の日々の取り組みを通してみえてくるもの」

妻田 敦子さん（八丈町健康課保健師長）

■「住民の立場からみえるもの」

磯崎 光太郎さん（榎立地区在住）

■「民生委員の日々の取り組みを通してみえてくるもの」

赤松 都さん（三根地区民生委員）

第Ⅲ部：伝統を活かした施策づくりのヒントを求めて

第Ⅰ部と第Ⅱ部のパネリストの皆さんから、それぞれの発表を聞いての感想と意見を求め、さらに、フロアーの皆さんからもご発言をいただいて、主題に迫る討議を進めます。

第Ⅳ部：交流会

※参加自由。会費自己負担。会場は当日お知らせします。

主催：島嶼コミュニティ学会
共催：八丈島の古文書を読む会

2011年8月20日[土]

14:00～17:00 ※開場13:30

会場：七島信用組合2階

参加費無料 ※事前申込みも不要です

お問合せ：土屋 090-7018-5281 立柳 090-2539-8755